

西日本フィナンシャルホールディングス

西日本FHD

ミニディスクロージャー誌 2023年3月期 2022年4月1日～2023年3月31日



©GROOVISIONS

特集 1

中期経営計画 飛翔2026

～つなぐココロ、つなげるミライ～

特集 2

アジアを代表する
国際ビジネス観光都市へ

進化する博多



2023年3月公表の西日本シティ銀行 本店本館イメージ

ブランドスローガン

ココロがある。
ココロがある。

2023年4月、

西日本FHグループは中期経営計画

「飛翔2026〜つなぐココロ、つなげるミライ〜」を

スタートさせました。

お客さまと地域の皆さまのため、

熱い「ココロ」でベストな「コタエ」をお届けする。

これは、私たち一人ひとりの目標であり

西日本FHグループとしての使命です。

みんなの力で、

総合力No.1の地域金融グループへ。

ここから私たちの新たな挑戦が始まります。

©GROOVISIONS

社会の未来のために、 私たちができることを。

西日本FHグループは、より良い社会の実現を目指し、
SDGs(持続可能な開発目標)/ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組みを推進しています。
地域のみならず社会の未来のために地域金融機関としてできることを考え、
グループ一丸となって積極的に取り組んでまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



特集 1

3 中期経営計画 飛翔2026 ～つなぐココロ、つなげるミライ～

社長トップインタビュー

5 グループ総合力を磨き、 地域の発展に貢献 リレーションシップ・マネジメント強化 「飛躍の3年間」に



特集 2

9 アジアを代表する国際ビジネス観光都市へ 進化する博多



Medium-Term Business Plan

11 お客さま起点の “One to Oneソリューション”の提供

15 ～iDeCoのイロハ教えます～ 老後の資金づくりは若いうちから

SDGs/ESGへの取組み

19 SDGs/ESGへの取組み

23 長崎銀行 創業110周年記念事業

25 ふるさと探訪 博多どんたく港まつり

26 安心に向けた取組み

27 2023年3月期 業績ハイライト

29 プロフィール・ネットワーク・株式のご案内



飛翔 2026

～つなぐココロ、つなげるミライ～

西日本フィナンシャルホールディングスは、2023年4月から2026年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画「飛翔2026～つなぐココロ、つなげるミライ～」を策定しました。

「飛翔」という名称には、当社グループが一丸となって、より高い目標に向かって積極果敢に挑戦し、お客さま・地域の皆さまとともに未来に向かって大きく“羽ばたいていく”という意味を込めています。

また、本中期経営計画では、お客さまとの接点やグループ連携の強化など、各戦略において「つなぐ」ということを共通かつ重要なテーマとしており、「つなぐココロ、つなげるミライ」を副題に掲げています。

「総合力No.1の地域金融グループ」の実現に向け

4つの基本戦略を展開します

基本戦略

1

お客さま起点の“One to Oneソリューション”の提供

ソリューション力の強化

重点施策

- (1) 企業へのソリューション提供
- (2) 個人のお客さまへのソリューション提供

基本戦略

2

営業革新

お客さま接点の強化

重点施策

- (1) 営業態勢の強化
- (2) デジタル戦略
- (3) 業務革新

基本戦略

3

人財革新

人的資本の強化

重点施策

- (1) 人財育成
- (2) 働きがいの向上

基本戦略

4

サステナビリティへの取組み

サステナビリティの強化

重点施策

- (1) 持続可能な地域社会への貢献
- (2) 当社グループの持続的な成長に向けた取組み

中期経営計画で目指す姿

当社グループは、多様なステークホルダーとのつながりを大切にしながら、
お客さま起点の“One to Oneソリューション”を
ヒューマンタッチとデジタルの両面で提供し、地域の持続的な発展に貢献します。

— グループ経営理念 —

高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、
お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループ

- ① お客さまに一番近い ② 地域に貢献する ③ 期待に応える人づくり

飛翔2026～つなぐココロ、つなげるミライ～



グループ総合力を磨き、地域の発展に貢献
リレーションシップ・マネジメント強化
「飛躍の3年間」に



西日本ファイナンスチャルホルディングス
代表取締役社長
村上 英之

西日本フィナンシャルホールディングス(FH)は2023年4月、

新たな中期経営計画「飛翔2026」つなぐ「コロ、つなげるミライ」をスタートしました。

本中計は社会・経済環境が激変する時代にあつて、西日本FHグループがどのような姿を目指し、どう企業価値を高めていくかの羅針盤となります。村上英之社長に、中計に込めた思いや狙いについて聞きました。

社会課題に対応し、企業価値を高める

本中計の前提となる、西日本FHグループを取り巻く社会・経済についての認識を伺います。

社会・経済環境は大きく変化しています。なかでもSDGsやESG、DX(デジタルトランスフォーメーション)など、世界が共有する大きな社会課題は、今後長期間にわたって私たちが向き合わなければならないものです。いわば「不可逆的」なテーマと捉えています。

本中計の策定にあたっては、西日本FHグループがこうした不可逆的テーマに対応し、どのようなビジネスモデルを描くのかを考えた中心に据えました。

本中計では、社会課題に対応すべく、幅広く高度なソリューションをお客さまに提供することを掲げています。

脱炭素やDXなどは、取引先のお客さまにとっても避けることのできない課題であり、その対応をサポートするのは、地域金融グループとしての責務

です。同時に、このサポートをビジネスモデル化することが、わが社グループの成長にとって極めて重要です。

社会課題の解決に取り組むお客さまを多様なソリューションでサポートし、それによってお客さまの支持を高め、西日本FHグループの収益力につながる。いわば、社会的価値と経済的価値を両立させることで、企業価値を高めるという思想です。「地域の発展なくして、わが社の発展なし」という信念も、同じことを表現しています。

西日本FHグループは、西日本シティ銀行を核に、カード、証券、コンサルティングなど多様な企業で構成されています。前中計期間中の2022年度には、九州リースサービスとシティアコム、イジゲングループの3社をグループに迎え入れました。SDGs/ESG、DXなど現在の社会課題に対応したソリューションを提供するための「陣構え」は相当程度、整ったと評価

しています。

この強化されたグループ総合力を、本中計で取り組む施策を通じてさらに磨き上げ、お客さまに最適なソリューションを「ヒューマンタッチ」と「デジタル」の両面で提供します。



2022年12月26日 イジゲングループのグループ会社化に伴う記者会見

ヒューマンタッチとデジタルのベストミックスの追求



お客さまとの 接点こそが 企業価値の源泉

本中計では「リレーションシップ・マネジメントの強化を重要テーマに挙げています。」

お客さまに最適なソリューションを最適なタイミングで提供するには、お客さまのニーズを知る必要があります。我々の究極の強みは、地域や個別企業のことを「よく知っている」という点です。定量的にも定性的にも知り尽くし、数字に現れない経営者の思いや経営力も把握する。お客さまとの接点こそが、当社グループの企業価値の源泉だと認識しています。

一方、法人も個人もお客さまの悩みやニーズは時代とともに多様化・高度化しています。本中計の基本戦略の一つ「お客さま起点のOne to Oneソリューションの提供」を実現するには、お客さまとこれまで以上に親密な関係を築き、課題やニーズを汲み取る必要があります。そのために、リレーションシップ・マネジメント強化を本中計の重要テーマに掲げました。具体策としては、特にヒューマンタッチに焦点を合わせて、「営業態勢の強化」と「人的資本の強化」に取り組みます。

1. 社会課題に対応したソリューション提供による収益力向上

「リレーションシップ・マネジメントの強化」

2. 営業態勢の強化



3. 人的資本の強化

4. 地域社会と西日本FH自身のサステナビリティ向上

「営業態勢の強化」の主要施策の一つとして、西日本シティ銀行の営業態勢の見直しを進めます。お客さまとの接点である銀行の営業店を、お客さまの課題やニーズをこれまで以上に的確にキャッチする「コンサルティング中心の場」としていきます。営業店はお客さまのニーズをつかんだら、早い段階で銀行本部につながる、銀行本部やグループ各社が持つソリューションから最適なものを探し出し、提供できるようにします。

何より大切なのは、銀行の営業店・本部、グループ各社が「お客さまのために」と目線をそろえて、それぞれの役割を果たすことであり、こうした体制を確立するため、本中計ではさまざまな手を打ちます。

すでに2023年4月には、営業店から情報を受け取り、グループのソリューション機能とつなぐ専門部隊として、コンサルティングサポーターやウェルスマネージャーを銀行本部に置きました。

また、2024年には、営業店のシステムを更改します。効率化を進めて店頭事務を減らし、コンサルティングの場にふさわしく対面での相談時間を増やします。

「人的資本の強化」はどのようにすすめますか。

わが社グループには、非常にモチベーションが高く、熱い思いを持った人が多くいます。そうした人が自身の能力をさらに高め、幅広い意見を自由に出し合う組織風土にすることが、重要だと考えています。

本中計では、「人財育成」と「働きがいの向上」を柱にした「人的資本の強化」に、これまで以上に力を入れます。人財育成では、コンサルティング・DX・企画などの分野で当社の将来を担う戦略人財の育成に加え、階層別・業務別研修の大幅な拡充などで役職

営業店システム更改後



(上記はイメージ図)

デジタル

お客さま自身によるタブレット入力や専用端末による現金授受により取引が完結

ヒューマンタッチ

行員は対面の相談業務に注力
営業店の役割を「コンサルティング中心の場」へ

「人」への投資の強化



地域のお客さまの課題の解決 西日本FHの持続的成長 従業員 Well-being 実現

「ココロがある、コタエがある」というブランドスローガンも同様です。地域やお客さまに対する「思い」は「ココロ」がベースにあり、グループ全体で最適な「ソリューション」は「コタエ」を提案する。わが社グループのビジネスス

企業の変化に適応しなければなりません。一方で、「高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します」というわが社の経営理念は変えてはならないものです。地域金融グループの使命と、グループの目標を過不足なく示しており、私たちが拠つて立つものだからです。

本中計で西日本FHグループが目指す姿は、当然ながら経営理念と重なります。

経営理念の価値観を共有する

員一人ひとりの成長を後押しします。働きがいの向上については、2026年に竣工予定の新店ビル(福岡市博多区)をはじめ、老朽化した営業店のリニューアルを進め、店舗を訪れる地域のお客さまにとっても、そこで働く従業員にとっても使いやすい環境を整えます。

「ココロがある、コタエがある」というブランドスローガンも同様です。地域やお客さまに対する「思い」は「ココロ」がベースにあり、グループ全体で最適な「ソリューション」は「コタエ」を提案する。わが社グループのビジネスス

現在、異業種がデジタル技術を使って金融事業に参入するなど、金融機関の経営環境は大きく変化しています。その中であつて私たち西日本FHグループは、融資や産業育成といったさまざまな機能をこれまでの歴史で培つてまいりました。強固な財務基盤による信用力もあり、本業以外の社会貢献も幅広く行っています。そしてグループには、地域のために役立ちたいという社員がたくさんいます。

地域経済を総合的に支える存在に

現在、異業種がデジタル技術を使って金融事業に参入するなど、金融機関の経営環境は大きく変化しています。その中であつて私たち西日本FHグループは、融資や産業育成といったさまざまな機能をこれまでの歴史で培つてまいりました。強固な財務基盤による信用力もあり、本業以外の社会貢献も幅広く行っています。そしてグループには、地域のために役立ちたいという社員がたくさんいます。

人口減少率は、全国に比べて緩やかです。中でも福岡市は2035年頃まで人口が増加すると予想されています。さらに、九州各県の中核都市では大規模な再開発プロジェクトが進んでいます。TSMC(台湾積体回路製造)の進出をきっかけに、熊本県を中心に半導体産業の集積も進むと見込まれています。

このように元気で将来性のある地域経済を、トータルで支えるグループ総合力こそが私たちの強みです。常に経営理念を中心に置いてグループ総合力をさらに高め、飛躍の3年間にしてまいります。



進化する博多

アジアを代表する国際ビジネス観光都市へ

天神と並ぶ福岡の都心として、急速な発展を遂げている博多駅周辺エリア。さまざまな建替えプロジェクトが一気に動き出し、最先端の国際ビジネス観光拠点都市へと進化を続けています。世界中のどこにもない、活力と賑わいをもった唯一無二のまちづくりへ向けて。その未来には、私たちが見たことのない新しい景色が広がっていることでしょう。

新しいまちづくりの プロジェクトが 着々と進行

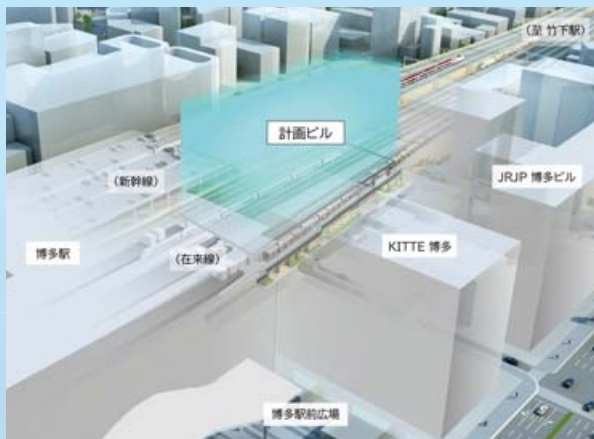
2011年3月の九州新幹線開業で駅ビルを中心に求心力を高めた博多駅周辺エリア。3年に及ぶコロナ禍を経て、九州の玄関口としての進化に拍車がかかっています。

昨年9月には、佐賀県の武雄と長崎を結ぶ西九州新幹線が開業し、交通ネットワークがさらに拡大。今年3月には地下鉄七隈線の天神南～博多駅間の延伸営業も開始されました。

アジアの主要都市としての重要性が高まる中、ビジネスや観光の拠点となるハード面での整備も進んでいます。そのシンボルとなるのが駅周辺に林立する高層ビル群です。すでにハイクオリティホテルや複合オフィスビルが建ち並び、近未来的な景観をつくりだしています。

さらに、JR九州では博多駅線路上に新たな都市をつくる「博多駅空中都市プロジェクト」の計画も進めています。

こうした数々のプロジェクトにより、市民はもちろんのこと、国内外からのビジネス客や観光客にもいっそう快適な空間と利便性が提供されることでしょう。



博多駅空中都市プロジェクト



③ 都ホテル博多



② (仮称)福岡東総合庁舎敷地有効活用事業



① 博多イーストテラス

博多駅前の新たなランドマーク 西日本シティ銀行 本店本館建替えプロジェクト

西日本シティ銀行では、博多駅前3丁目に博多コネクティッドボーナスの認定を受けた本店本館建替えプロジェクトを計画しています。(2026年1月頃竣工予定)

地上14階、地下4階建ての本店ビルには、西日本シティ銀行の本店機能に加えオフィスフロアや商業店舗を配置します。博多駅前の賑わいを創出する大規模立体広場「コネクティッドコア」やまちに潤いを与える緑化空間も創出するほか、感染症対応シティなどの取組みを実施することで、博多駅周辺エリアの国際競争力向上に貢献できるものと考えています。



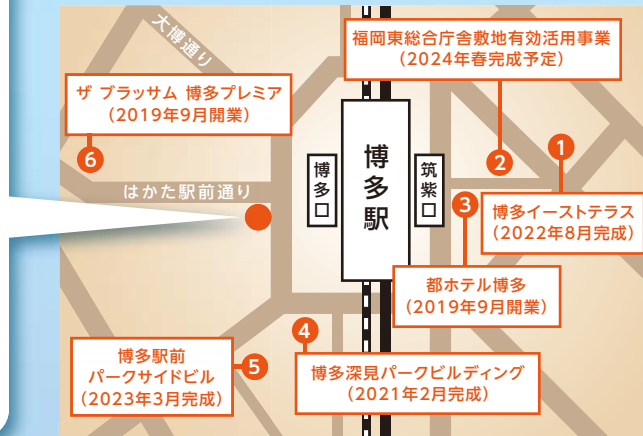
①山陽新幹線や九州新幹線をはじめとする鉄道、地下鉄、バス等の交通網が結節した陸のゲートウェイであるとともに、博多港や福岡空港にも直結している博多駅。②今年3月に延伸営業を開始した地下鉄七隈線。地下鉄空港線へは動く歩道でスムーズに移動できる。③博多駅と天神地区をつなぐ博多駅前通り。博多のまちの新たなシンボルとなる魅力的な都市景観の形成を図ることを目的として、2011年、都市景観形成地区に指定されている。

都市としての 機能性と付加価値が さらに向上

福岡市が主導する都心部再開発プロジェクト「博多コネクティッド」も、駅周辺の賑わいづくりを後押ししています。

博多コネクティッドとは、博多駅から半径約500m、約80ヘクタールを対象エリアに、交通基盤の拡充と併せ、容積率等の規制緩和により耐震性の高いビルへの建替えや歩行者ネットワークの拡充を図っていく一大プロジェクトです。2019年1月に始動が宣言され、10年間で20棟の建替え誘導を目指しています。

ビルの建替えについては、「博多コネクティッドボーナス」というインセンティブ制



度が設けられており、西日本シティ銀行本店本館建替えプロジェクトもその3例目として計画がスタートしています。

●主なビル建て替えプロジェクト

⑥ ザブラスサム 博多プレミアム

⑤ 博多駅前パークサイドビル

④ 博多深見パークビルディング

One to Oneソリューションの提供

西日本FH
西日本シティ銀行
イジゲングループ
シティアスコム

グループ総合力の更なる強化 イジゲングループをグループ会社化

西日本FHは、2022年12月、イジゲングループをグループに加えました。

人口減少・少子高齢化、デジタル化の加速、サステナビリティへの意識の高まり等を背景に、お客さまの課題やニーズは多様化・高度化しています。特にデジタル化・DXは世界的な潮流となっており、地域においてもこれらのニーズは飛躍的に高まっています。

イジゲングループは、DXコンサルやデジタル技術を活用したサービス開発UI/UXの開発などに強みを有する会社で、西日本FHグループのお取引先を含む地域のお客さまに、コンサルティングを起点としたDX支援を展開していくことにより、多くのお客さまの課題解決に貢献してまいります。



2022年12月26日
グループ会社化についての記者会見

<イジゲングループの概要>

名称	イジゲングループ株式会社
所在地	大分県大分市 大道町二丁目6番26号
代表者	代表取締役社長 鶴岡 英明 代表取締役専務 鍋島 佑輔
設立日	2020年10月
資本金	8,255万円
事業内容	DXコンサルティング業・ 情報システムサービス業

西日本FHのデジタルソリューション提供のイメージ



各社の強みを生かしたデジタルやシステムのソリューション提案

お客さまのデジタル化・DX支援を通じた

地域経済の活性化

持続可能な社会の実現

- 西日本シティ銀行は、日々の営業活動を通じて、お客さまのデジタル化・DXのニーズを把握し、西日本FHのグループ会社および外部企業と連携して、お客さまにとって最適なソリューション(商品・サービス)を提供します。
- シティアスコムおよびイジゲングループは、お客さまの課題解決に資するシステムをハンズオンで開発することに強みを持っています。
- シティアスコムはお客さまの業務フローに合わせた“基幹系のシステム開発”、イジゲングループはDXコンサルティングやUI/UXといった“デジタルサービス開発”を得意としており、それぞれの特長を活かして、お客さまの課題解決に向けたソリューションを提供します。



「第3回 西日本FHビジネスコンテスト」 「OPEN-INNOVATION HUB」を開催

西日本FHは、「第3回 西日本FHビジネスコンテスト」
「OPEN-INNOVATION HUB」を開催し、
「Well-beingとSustainability」
「こころ豊かな暮らしと持続可能な社会に向けて」をコ
ンセプトにビジネスアイデアの募集を行いました。

2023年2月21日の最終選考会では、100社の応募の中から7社のファイナリストがそれぞれのビジネスプランについて発表し、各賞を決定しました。

最優秀賞は、看護師に特化した転職マッチングサービスを展開する株式会社 thestory、優秀賞は医療機器の点検・注文・買取の一括管理サービスを展開するタッグライン株式会社、また、企業賞として、株式会社KLDなどを表彰しました。



2023年2月21日 最終選考会

優秀賞	最優秀賞
タッグライン 株式会社	株式会社 thestory

企業賞		受賞企業
RKB賞	RKB毎日放送株式会社	株式会社KLD
docomo business賞	NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社Be Flat
エフエム福岡賞	株式会社エフエム福岡	株式会社MentaRest
九電工オリーブ賞	株式会社九電工	株式会社thestory
JR九州賞	九州旅客鉄道株式会社	株式会社Be Flat
大日本印刷賞	大日本印刷株式会社	株式会社MentaRest
凸版印刷賞	凸版印刷株式会社	株式会社AGE technologies
福岡地所賞	福岡地所株式会社	タッグライン株式会社
三谷産業賞	三谷産業株式会社	株式会社Be Flat
ワールドホールディングス賞	株式会社ワールドホールディングス	株式会社AGE technologies

*企業名にて五十音順



「ふるかむ」のWebサイトイメージ

<「ふるかむ」の概要>

対象のお客さま	西日本シティ銀行に預金口座をお持ちの法人
参画する 地方公共団体	朝倉市、糸島市、うきは市、宇美町、大川市、大野城市、岡垣町、春日市、粕屋町、香春町、志免町、太宰府市、筑後市、筑前町、久山町、水巻町、みやま市、吉富町(順次拡大予定)※五十音順
寄附額	10万円から
URL	https://furukamu.com

(注)2023年6月1日現在

地銀初! 企業版ふるさと納税ポータルサイト 「ふるかむ」を開設

西日本シティ銀行は、2023年6月、地方銀行の主体運営としては初となる企業版ふるさと納税ポータルサイト「ふるかむ」を開設しました。

「ふるかむ」は、福岡県内の地方公共団体が個別にホームページなどで紹介している、企業版ふるさと納税(※)対象の地方創生プロジェクトをわかりやすく紹介するポータルサイトで、企業さまは「ふるかむ」を利用することで寄附したい地方公共団体を検索し、寄附の手続きを進めることができます。

本サービスの詳細については、取引店またはお近くの営業店にお問い合わせください。

※企業版ふるさと納税とは、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税務控除する仕組みです。



西日本F Hグループは、 お客さまのさまざまなニーズに応じたサービスを ヒューマンタッチとデジタルのベストミックスで提供します。

ヒューマン
タッチ



西日本シティ銀行

西日本シティ銀行

「伊都支店」新規出店

西日本シティ銀行は、2023年秋を目前に「伊都支店」を新規出店することを公表しました。

伊都支店が建つエリアは「九州大学伊都キャンパス」の玄関口であり、JR筑肥線や西九州自動車道が走る交通の要衝です。現役世代を中心に人口増加が見込まれ、法人・個人事業主の集積も期待されていますが、金融機関の店舗がないエリアでした。

西日本シティ銀行は、この伸び行くJR九大学研都市駅エリアにおいて、地域の皆さまの要望に応え、質の高いサービスを提供すべく支店出店を決定しました。

なお、伊都支店は2004年10月の西日本シティ銀行創立以来、初めて出店する新規の支店となります。

オープンした際は、是非お気軽にご来店ください。



住所:福岡県福岡市西区田尻東1丁目7番7号 西日本シティ銀行 伊都支店イメージ

\close up!

伊都

JR九大学研都市駅
エリア

自然と都市機能が共存する 人気急上昇の“新しいまち”

JR九大学研都市駅の開業、九州大学伊都キャンパス開校等に伴い、福岡市西部の新たな拠点地域として発展するJR九大学研都市駅エリア。糸島の豊かな自然も近く利便性に富んだ新しいまちに、熱い視線が注がれています。

商業施設の充実で 暮らしやすさが加速

JR九大学研都市駅は天神から電車でわずか25分であり、その周辺は、福岡市内でもっとも人口が増えている地域の一つといわれています。大型商業施設の出店に加え、この3月には、駅から徒歩圏内にカジュアルウエアショップや雑貨店が次々とオープンし、暮らしやすさに拍車がかかっています。

子育てやビジネスにも 最適の生活環境

2023年4月には九大新町に研究開発次世代拠点となる「いとLab+」がオープン。福岡市と九州大学が連携し、新産業・新事業の創生に取り組んでいます。また、沿岸部には糸島半島の美しい景観が広がり、リゾート感たっぷり。自然にも都市にも近く、子育てやビジネスに最適の場といえます。



デジタル



西日本シティ銀行

投資信託取引の利便性を向上し、
西日本シティ銀行アプリをリニューアル

西日本シティ銀行は、お客さまの投資信託取引の利便性を向上を図るため西日本シティ銀行アプリ(以下「NCBアプリ」)を2023年6月にリニューアルしました。今回のリニューアルにより、「NCBアプリ」のみで投資信託の口座開設(NISA口座、つみたてNISA口座含む)から購入や解約などの各種取引が一通りできるようになりました。また、画面デザインについてもお客さまが使いやすい、見やすいデザインに刷新しました。

「NCBアプリ」で投資信託・NISA口座開設をお申込みいただけるお客さまは、西日本シティ銀行に投資信託口座をお持ちでない、18歳以上69歳以下の個人のお客さま(日本国籍)・マイナンバーカードまたは運転免許証+個人番号通知カードをお持ちのお客さま・西日本シティ銀行アプリの口座登録を完了されているお客さま

リニューアル概要

「NCBアプリ」のみで投資信託・NISAの
口座開設から各種取引まで一気通貫で完結



投資信託 トップ画面



POINT 1

使いやすく見やすいデザイン

- 利用者の多いメニューアイコンを上段に表示
- 「ファンドを探す」をタップするとファンド検索画面にも遷移できます

POINT 2

アプリ内で以下の取引が利用可能

投資信託の一括購入・売却、積立投信の新規申込・中止 など

POINT 3

ランキングやキーワードでファンドを検索

- 販売金額やファンドの値上がり率等のランキングを表示
- キーワード、投資対象、投資地域等の7つの条件から検索できます



西日本シティ銀行

「C H E E R 証券と
業務委託契約締結」
アプリを通じた
投資サービスの
提供を開始

西日本シティ銀行は、2023年3月、C H E E R 証券(株)と金融商品仲介業などに関する業務委託契約を締結し、西日本シティ銀行アプリを通じてワンコイン(500円)から国内株・米国株などに投資できるサービスの提供を開始しました。

本サービスは、西日本シティ銀行アプリからC H E E R 証券口座を開けただけで、シングルサインオン(※)で同証券のWebサイトにログインできるほか、西日本シティ銀行の普通預金口座からC H E E R 証券口座にリアルタイムで資金移動し、24時間いつでもどこでも国内株・米国株などに投資することができます。

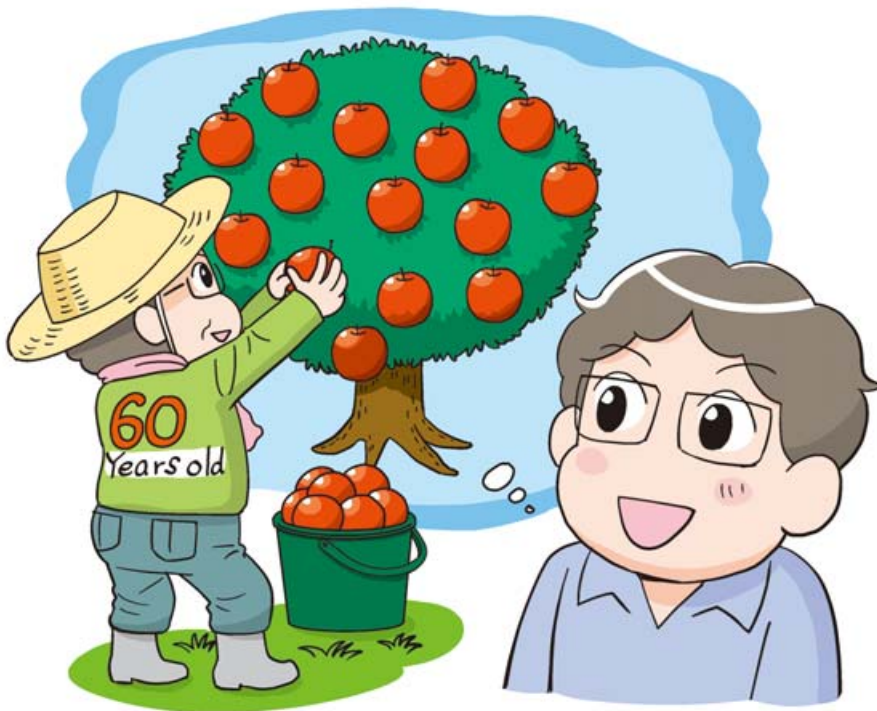
※1度のユーザー認証により複数のアプリを連携して利用できる仕組みです。



本サービスのイメージ



～iDeCoのイロハ教えます～ 老後の資金づくりは若いうちから



イラスト：まきりえこ

老後を公的年金だけに頼るのは心もとないですよ。個人型確定拠出年金「iDeCo(イデコ)」は個人が掛金を拠出し、投資信託などで運用して60歳以降に受け取る制度。いわば「じぶん年金制度」です。税の優遇があり「老後資金づくりの最強手段」として加入者は増えています。

財成大夢(25)も最近、会社の同僚たちから「iDeCoを始めた」とよく聞くそうです。上司からも「iDeCoは若いうちからやった方がいいぞ」と勧められたりして。でも、「何がそんなにお得なの?」。今回のオーエンで、大夢と一緒にiDeCoを学びましょう。

個人型確定拠出年金「iDeCo」

iDeCoは、公的年金(国民年金・厚生年金)の上乗せとして老後を支える私的年金制度。個人が投資信託や定期預金などの金融商品を選んで積み立てし、老後の資産形成をする仕組みです。**掛金は全額所得控除され、運用益なども非課税**となるメリットがあります。受け取りは原則60歳以降になります。

白浜FPチェック

●掛金の上限は職業や立場で違う

iDeCoの毎月の掛金は最低5,000円で、上限は職業や立場で異なります。国民年金しかない自営業やフリーランスの人は、国民年金に加えて厚生年金もあるサラリーマンや公務員に比べて年金が少ないため、iDeCoの拠出限度額が多くなっています。

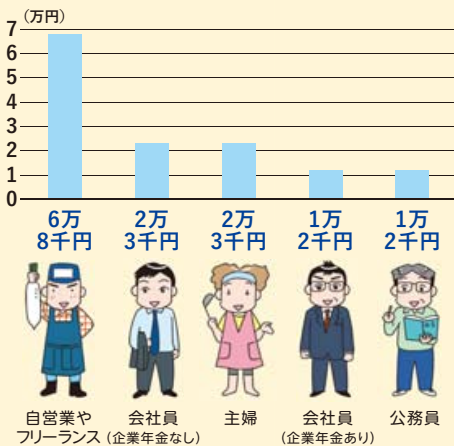
●資金は途中で引き出せない

例外はありますが、iDeCoに預けた資金は原則60歳まで引き出すことはできません。無理のない範囲で積み立てましょう。

●掛金の変更は可能

掛金は年に1回変更できます。積み立てが難しくなった場合は、積み立てを休んで資産運用のみを行うこともできます。

■掛金の上限額



メリット
1

掛金が全額所得控除



iDeCoの掛金は**全て所得控除**されるため、負担する所得税、住民税が減りま
す。会社員であれば、**所得税分が年末調整**で戻り、住民税も安くなります。



ざいなす たいむ
財成 大夢

25歳 会社員(企業年金なし)
年収400万円
掛金5000円/月

年間**6万円**の積み立てで
9000円の税額軽減



「ちょっと待ってください。職業や立場で掛金の上限額は決まっているんです。大夢さんの場合は上限が2万3000円です。またiDeCoに預けたお金は原則60歳まで引き出せません。掛金の見直しは年1回できません。最初は少額で始めて、年収が増えた際に増額を検討することもできますよ」



「スゴイ！そんなに安くなるなら、もっと積み立てようかな」



「軽減額は『iDeCoナビ』というWEBサイトで簡単に調べられます。大夢さんの場合、試算すると年間9000円、60歳までそのまま積み立てると総額31万5000円安くなりますね」



「税負担が軽くなるんですね。ぼくが月々5000円積み立てたらどうなりますか?」



「iDeCoの目的は『老後の年金づくり』。さまざまな税制の優遇があるんですよ。中でも大きなメリットは、掛金が全額所得控除になることです」



「最近、周りでiDeCoを始めたという話をよく聞きます」



iDeCoナビとは

NPO法人「確定拠出年金協会」が運営するWEBサイト。「税控除を確認してみよう」のコーナーでは、年収、年齢、毎月の掛金を入力すると、大まかな節税額を試算してくれる。また金融機関の商品比較などもできる。

西日本シティ銀行の個人型確定拠出年金プラン

 **恋する iDeCo** 【愛称】

自分の安心を
自分でつくる。



いっぱい食べよう!!
大収穫!



「iDeCoって掛金が全額所得控除されて運用益も非課税になる。ダブルでお得な制度なんです。早速始めてみます」

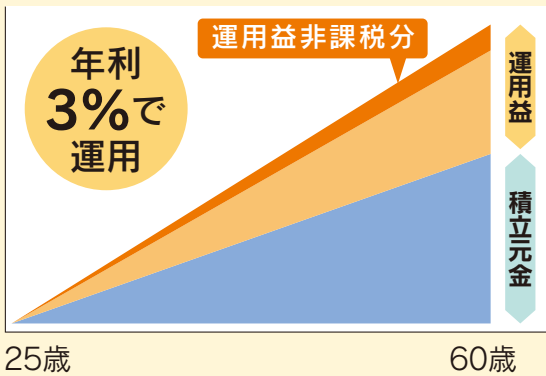


「もう一つのメリットは、運用益が非課税になることです。25歳の大夢さんが、60歳まで月々1万円ずつiDeCoで積み立てたケースを見てみましょう。仮に年利3%で運用できたと仮定すると、大夢さんが60歳の時には、約1.8倍の741万円になります。利益の321万円にかかる20.315%の税金、約65万円は差し引かれません」

通常、預金や投資信託などをして得られる利息や売買益には、20.315%（所得税15%、住民税5%、復興特別所得税0.315%）の税がかかります。しかし、iDeCoの場合は全く税金がかかりません。

メリット 2 運用益が非課税

大夢の運用シミュレーション



iDeCoで運用なら **741万円**
課税で運用なら **676万円**
積立総額 **420万円**

65万円お得

※シミュレーション結果は概算値。手数料、税金等は考慮しておらず、実際値とは異なる場合があります。左記グラフは、将来の運用成果の予測であり、その実現を保証するものではありません。



イラスト

まきりえこ

福岡市在住の漫画家・コミックエッセイスト近著に「実家が放してくれません(集英社)」



FP

白浜 仁子

(しらはま ともこ)

fpフェアリンク株式会社 代表取締役
福岡市中央区今泉2丁目1-35アプリーレ今泉703
TEL 092-753-9828









商号等:株式会社西日本シティ銀行
登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

出所:ぐらんざ2023年2月(「オーエン×ぐらんざ」コーナー)



非課税制度はいろいろあります。 自分に合った非課税制度を活用しましょう!

	少額からコツコツ・ 長期で運用したい。 運用の際のコストを 抑えたい。 	まとまったお金を運用 したい。積立以外で 一括購入もしてみたい。 	公的年金だけでは 不安。老後の資金を 準備したい。 
	そんなあなたは つみたてNISA	そんなあなたは NISA	そんなあなたは iDeCo
対象者	18歳以上 (口座を開設する年の1月1日現在)	18歳以上 (口座を開設する年の1月1日現在)	国民年金被保険者の方 ^(注)
対象の税優遇	投資信託等の 売却益・分配金等が非課税 (通常は20.315%)	投資信託等の 売却益・分配金等が非課税 (通常は20.315%)	掛金:所得控除 運用益:非課税 払出時:退職所得控除または 公的年金等控除
非課税枠 (投資可能額)	年間40万円	年間120万円	年間6万円～81.6万円 (職業により異なる)
非課税での 保有可能期間	20年間	5年間	運用期間中
制度を利用して 商品が買える期間	2023年まで	2023年まで	原則60歳に達するまで ^(注)
運用商品	国の基準を満たす投資信託	投資信託・上場株式・リート等	投資信託・預金等
買付方法	積立のみ	一括・積立	積立のみ
途中引出し	可能	可能	原則60歳まで不可
詳しく知りたい方は、 西日本シティ銀行の ホームページを ご覧ください			

* つみたてNISAとNISAは、日本の居住者に限ります。(注)第2号被保険者・国民年金任意加入被保険者は65歳に達するまで。

「**つみたてNISA**」と**一般のNISA**は、併用することができません。ご自身の投資スタイルに合わせて、いずれかをご選択ください。
上記は2023年3月時点のものであり、今後の税制改正等により変更となる場合があります。

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
	年間投資枠	120万円	
非課税保有期間	無期限化		無期限化
非課税保有 限度額(総枠)	1,800万円 ※簿価残高方式で管理(枠の再利用が可能)		
口座開設期間	恒久化		1,200万円(内数) 恒久化
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した 一定の投資信託 (現行のつみたてNISA対象商品と同様)		上場株式・投資信託等 (①整理・監理銘柄②信託期間20年未満、高レバレッジ型 及び毎月分配型の投資信託等を除外)
対象年齢	18歳以上		18歳以上
現行制度 との関係	2023年末までに現行の一般NISA及びつみたてNISA制度において投資した商品は、 新しい制度の外枠で、現行制度における非課税措置を適用 ※現行制度から新しい制度へのロールオーバーは不可		

*本ページは、NISA・iDeCo制度についてお伝えする目的のものであり、個別商品を勧誘するものではありません。

(出所:金融庁HP NISA特設ウェブサイト)

*商号等:株式会社西日本シティ銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第6号 加入協会:日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会



SDGs/ESGへの取組み

西日本F Hグループは、
地域金融グループならではの
SDGs/ESGへの取組みを推進しています。



西日本F H
西日本シティ銀行
公益財団法人 福岡文化財団



西日本F H
西日本シティ銀行
NCBリサーチ&コンサルティング



西日本F H
西日本シティ銀行
公益財団法人 福岡文化財団

「NCB音楽祭2022 〜歓喜と喝采〜」を開催

西日本シティ銀行は、2022年12月22日、公益財団法人福岡文化財団との共催で「NCB音楽祭2022〜歓喜と喝采〜」をアクロス福岡シンフォニーホールで開催しました。



NCB音楽祭2022〜歓喜と喝采〜

8回目となる今回の音楽祭は、行員と地域の皆さまによる「NCBフロイデ合唱団」が3年ぶりにベートーヴェン作曲交響曲第9番（第九）を合唱したほか、年末を飾るにふさわしい明るく華やかな曲をお届けしました。会場は終始、拍手喝采の渦に包まれました。

「第16回 久保田勇夫 新春経済講演会」を開催

西日本F Hは、最新の経済情報や企業経営や景気見通しの参考にさせていただくため、2008年より毎年、久保田会長による新春経済講演会を開催しています。

16回目となる今回は、久保田会長が「2023年経済・金融の見通し〜世界、日本、そして九州〜」をテーマに、今年の世界経済や日本経済、地元九州経済の見通しや留意点などについて詳しく講演しました。

また、2023年4月には、講演会の内容をまとめた「講演録」を発行し、お取引先などに配布しました。



西日本F H 久保田会長



第16回 久保田勇夫 新春経済講演会

「日本の神様と舞い踊ろう 〜地域に根付く神楽と神舞〜」 を開催

西日本シティ銀行は、2023年2月18日、公益財団法人福岡文化財団との共催で「日本の神様と舞い踊ろう〜地域に根付く神楽と神舞〜」を大濠公園能楽堂で開催しました。



日本の神様と舞い踊ろう〜地域に根付く神楽と神舞〜

8回目となる今回の舞台では、榎田神社の心安らかな国の平和を願う「浦安の舞」、山内神楽講の天孫降臨の物語を演じた「御先」、横瀬神楽講の五穀豊穡と子孫繁栄を祈願する「三」、唐原神楽講の米の豊作を願い祖先への感謝を込めて舞う「米舞」が披露され、観客の皆さまに優雅な時間と空間をお届けしました。





「アジア貢献賞」受賞者の皆さま



「アジア未来大賞」受賞者の皆さま

久保田会長(西日本F.H.)が理事長を務める公益財団法人西日本国際財団は、2023年3月14日、「第24回 アジア貢献賞」、「第18回 アジア未来大賞」の受賞者を福岡市内のホテルで表彰しました。「アジア貢献賞」は、九州・沖縄・山口地域に拠点を置きアジアとの国際交流に貢献している団体および個人を表彰しています。また、「アジア未来大賞」は、小中学校などの学生の活動を通してアジアとの国際交流に貢献している団体および個人を表彰しています。

公益財団法人 西日本国際財団



第24回「西日本国際財団 アジア貢献賞」受賞者

団体・受賞者	認定特定非営利活動法人 アジアチャイルドサポート (代表理事 池間 哲郎)	特定非営利活動法人 Colorbath (代表理事 吉川 雄介)	認定NPO法人 れんげ国際ボランティア会 (会長 川原 英照)
活動地域	アジア各国 沖縄県(沖縄市)	ネパール・マラウイ 山口県(周南市)	アジア各国 熊本県(玉名市)
活動分野	生活支援・教育支援	教育支援・ソーシャルビジネス支援	教育支援・福祉支援

第18回「西日本国際財団 アジア未来大賞」受賞者

団体・受賞者	佐賀県外国にルーツを持つ 生徒交流を支援する会 (代表 松下 一世)	特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス (創設者 鬼丸 昌也)
活動地域	アジア各国 佐賀県(佐賀市)	カンボジア・ラオス・ウガンダなど 佐賀県(三養基郡)
活動分野	多文化共生・教育支援・国際交流	人材育成

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「西日本シティ銀行について>地域社会貢献活動>公益財団法人 西日本国際財団」からご覧いただけます。



「経営者賞」受賞者の皆さま

久保田会長(西日本F.H.)が理事長を務める公益財団法人経営者顕彰財団は、2023年4月27日、第50回「経営者賞」の受賞者を福岡市内のホテルで表彰しました。経営者顕彰財団は、九州・山口地域で中小企業の経営・技術に優れた業績をおさめ、地域経済の発展に貢献された経営者を1973年以来毎年表彰し、これまで計180名の方に「経営者賞」を贈りました。

公益財団法人 経営者顕彰財団

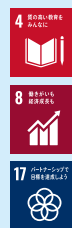


第50回「経営者賞」受賞者

氏名	大森 仁史 氏	川邊 義隆 氏	眞鍋 博俊 氏
企業名 役職	株式会社大森淡水 代表取締役会長兼社長	株式会社八ちゃん堂 顧問	株式会社博運社 代表取締役会長
所在地	宮崎県宮崎市大字塩路2300	福岡県みやま市山川町尾野736	福岡県糟屋郡志免町別府北3-4-1
事業内容	水産養殖業	冷凍食品製造業(冷凍たこ焼き、 冷凍焼きナス、冷凍みかん等)	一般貨物自動車運送、利用運送、 倉庫・物流コンサルティング業

※過去の受賞者等、経営者賞の詳細は、西日本シティ銀行ホームページの「西日本シティ銀行について>地域社会貢献活動>公益財団法人 経営者顕彰財団」からご覧いただけます。





西日本シティ銀行

「芸術の秋」 「ワンクアート」 プロジェクト2022」を開催

西日本シティ銀行は、2022年11月25日、福岡県糟屋郡篠栗町の地域コミュニティセンター「こころん」で、「ワンクアートプロジェクト2022」を開催しました。

このイベントは、地域の子どもたちにアートを親しんでもらおうと企画したもので、当日は九州産業大学芸術学部の学生を講師に、子どもたちが「描ける段ボールワンク」に思い思いのペイントをほどこしました。

ペイントした段ボールワンクは、篠栗支店に展示したあと、近隣の商業施設であるイオンモール福岡のクリスマスツリーに飾り、店内を行き交う人々に色とりどりのワンクが元気をお届けしました。



クリスマスツリーに飾られた段ボールワンク



西日本シティ銀行

「大学生向け 金融リテラシー支援」 福岡県内の大学で講義を実施

西日本シティ銀行は、成年年齢の引下げに伴い、大学生においても金融トラブルから身を守る必要性が高くなっていることを背景に九州大学(2022年11月開催)と西南学院大学(2023年4月開催)の学生向けに「大学生のうちから身に付けたい金融リテラシー&資産形成」と題した講義を行いました。

本講義では「投資に関する基礎知識」や「金融トラブルからの防御」、「資産形成の方法」などをテーマに学んでいただきました。

参加した学生からは、「初めて資産形成について聞いた。知識を身につける必要性や危機感を感じた」「もっと早くから資産形成について知りたかった」などの感想が聞かれました。

今後も地域金融機関として地域の金融リテラシー向上に努めてまいります。



九州大学の講義風景

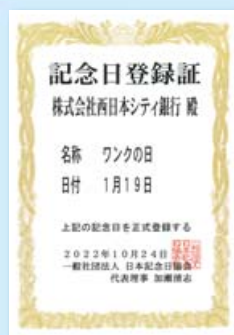


西南学院大学の講義風景



西日本シティ銀行

「1月19日は「ワンクの日」」 日本記念日協会に登録



「ワンクの日」記念日登録証

西日本シティ銀行は、1月19日を「ワンクの日」として日本記念日協会に登録しました。銀行がオリジナルキャラクターにちなんだ記念日登録をすることは全国で初めてです。

イメージキャラクター「ワンク」は、2005年に西日本シティ銀行のオールインワンカードのキャラクターとして誕生し、キャラクター名は成年の2006年1月に一般公募で名付けました。

「ワンク」をデザインした商品や販売拠点を拡大するなか、「ワンク」がこれまで以上に親しみのある、愛犬のような身近な存在になつてもらいたいという願いを込めて、「ワンク」と名付けた1月の「1:ワン、9:ク」の語呂合わせである1月19日を「ワンクの日」としました。



「ワンクNo.119」のイメージ

ワンクグッズ 新商品開発 プロジェクト

アロマスプレー「ワンクNo.119」 販売開始予定

「ワンクの日」記念日登録企画として、皆さまから香りを投票していただいたアロマスプレー「ワンクNo.119」(サボンの香り)が地元でドラッグストアなどを展開する大賀薬局さまの協力のもと完成しました。2023年7月ごろ、大賀薬局と九州ヴォイスの一部店舗やWebサイト「ワンクショップ」で販売を開始する予定です。

ワンクグッズは
Webサイト
「ワンクショップ」
からご購入できます。





西日本シティ銀行 シティアスコム

子ども向けイベント「ワークショップコレクションin福岡2023」にブース出展

西日本シティ銀行とシティアスコムは、2023年3月25日・26日の2日間、九州大学伊都キャンパスで開催された子ども向けイベント「ワークショップコレクションin福岡2023」に参画しブースを出展しました。

西日本シティ銀行のブースでは「第18回お金のがっこう」SDGsカードゲーム体験「2段階ボールワークに絵付け体験」を実施し、シティアスコムのブースでは「わくわく！プログラミング」「バーチャル世界 みんなで遊ぼう」を実施しました。2社のブースには、2日間で約2,500人の子どもの来場し、子どもたちから「楽しく学べてよかった」などの感想が聞かれ、大変好評なイベントとなりました。



西日本シティ銀行のブース風景



シティアスコムのブース風景



西日本シティ銀行

「ワンクグッズ」販売1周年記念「京都「三三屋」でもワンクグッズを販売

2022年6月のワンクグッズ販売開始から1周年を迎えたことを記念して、京都に展開するワンクの生みの親グループ「三三屋」でも2023年6月から販売を開始しました。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



京都市中京区東洞院
 蛸薬師下元竹田町639-11
 (営業時間：土日祝日のみ12時～19時)



長崎銀行 創業110周年 記念事業

長崎銀行はおかげさまで、
2022年11月11日に創業110周年を迎えました。

長崎銀行が創業110周年を記念し取り組んだ様々な事業を紹介します。

長崎銀行
西日本シティ銀行

子どもたちの豊かな生活づくりのために 長崎県での「フードドライブ活動」への取組み

長崎銀行は、地域の子どもの豊かな生活づくりを支援するため、西日本シティ銀行と共同で、従業員の家庭などで使いきれない食材を、子ども食堂等に寄付する「フードドライブ活動」に取り組んでいます。

2022年11月21日には、第1回寄贈式において、これまで集めた食材を提供しました。

この活動は、西日本シティ銀行で2021年から開始したもので、長崎銀行の14拠点を含め約100拠点で実施しています。

2023年3月末までに寄付した食材は両行合計で約2,460kgとなりました。今後も、拠点を拡大するなど支援の輪を広げてまいります。



2022年11月21日 長崎地区 第1回寄贈式

長崎銀行
西日本シティ銀行

SDGs啓発子ども向けイベント 「街1グランプリ with 長崎」を開催

長崎銀行は、2023年3月26日、西日本シティ銀行と共同で、SDGs啓発子ども向けイベント「街1グランプリ with 長崎」を長崎新聞文化ホールアストピアで開催しました。

当日は、長崎女子短期大学の学生を進行役に、約30名の子どもたちがグループに分かれ、西日本シティ銀行と九州博報堂が開発したオリジナルの「街1カード(※)」を使用して、SDGsを意識した「長崎の街づくり」のアイデアを考えました。



街-1グランプリ with 長崎

グループごとに「農家がフルーツカステラを作って、古い空き家でパーティーを開催し長崎を宣伝する」「未来からきた人に十年後の長崎で起こる悪いこと」といったアイデアが次々に発表され、投票によりグランプリのアイデアを決定しました。子どもたちから「カードゲームでSDGsが学べて楽しかった」「色々なアイデアが出て楽しかった」などの感想が聞かれ、保護者の方々にもご好評をいただきました。

※街-1カードとは、5~6名のグループに分かれて、場所や人、モノが描かれた80種類のカードの中から3枚のカードを組み合わせてSDGsに触れながら「街づくり」のアイデアを考えるカードゲームです。2022年3月に特許を取得しました(特許第7039638号)。

「ワンクめりえ」コンテスト2022 With 長崎」受賞作品を決定

長崎銀行は、「長崎銀行とワンク」をテーマに「ワンクめりえ」コンテスト2022 With 長崎」を西日本シティ銀行と長崎新聞社と共同で開催し、過去最多となる4,036点の応募作品の中から110周年にちなんで受賞作品110点を決定しました。

グランプリの「長崎銀行創業110周年記念賞」の作品は2023年3月24日から1年間、JR長崎駅の巨大壁面パネルとして掲出しています。また、入賞・入選の合計110作品を特別映像にして長崎市の浜町アーケードにある大型ビジョン「ハマモニ」で2023年3月24日から2週間にわたって放映しました。現在は、西日本シティ銀行のホームページ内「ワンクハウス」に掲載していますので、是非、ご覧ください。

グランプリ



長崎銀行創業110周年記念賞

特別賞



長崎銀行特別賞

優秀賞



長崎銀行頭取賞



西日本シティ銀行 長崎支店長賞



長崎新聞社賞



グループヴィジョンズ賞

ふるさと訪探

博多 どんたく 港まつり

祝うたあ！

2023年5月、コロナ禍を経て4年ぶりに通常開催された「博多どんたく港まつり」。市民による多彩なパレードや華やかなパフォーマンスが繰り広げられ、福博のまちに元氣と活氣がよみがえりました。

約840年の歴史をもつ
全国有数の市民のまつり

博多どんたく港まつりは、約840年前の治承3年(1179年)に始まったとされる民俗行事「博多松離子」(国指定重要無形民俗文化財)を起源としています。その後、紆余曲折を経て昭和37年(1962年)に市民総参加のまつりとなり、国内外から200万人以上の人が集う全国有数のまつりに成長しました。

第62回となった今回は、5月2日に福岡市役所前の本



福岡商工会議所の谷川会頭(西日本シティ銀行会長)の博多どんたく港まつり開催あいさつ



舞台上で前夜祭を開催。3日、4日の2日間にわたって市内29か所に設けられた演舞台やどんたく広場で多彩なイベントが行われました。

博多を代表する民俗芸能博多にわかも披露

博多どんたくを盛り上げる催しのひとつが、福岡市無形民俗文化財に指定されている「博多にわか」です。にわか面と呼ばれる半面をつけた演者が、ユーモアあふれる話芸を繰り広げる笑劇で、その起源は約300年前に遡るといわれています。



西日本シティ銀行では本店別館敷地内に4年ぶりとなる「西日本シティ銀行演舞台」を設置。西日本F.Hの久保田会長や役員らで結成したメンバーが「博多にわか」を披露し、たくさんの笑いを誘いました。



西日本シティ銀行も博多どんたく港まつりに参加しました!

西日本シティ銀行は、役員や新入行員らによるどんたくパレード隊を編成し、キャラクター「ワンク」のテーマ曲に合わせ、SDGs色のフラッグやシャボン玉を用いたパフォーマンスを披露しながら行進しました。

沿道からのご声援ありがとうございました!



西日本シティ銀行 村上頭取の演舞台主催者あいさつ



地域の“元氣”を応援するTV番組を福岡・長崎地区でお届けしています



ミライへの1minute

自身が信じる芸術の道に情熱を注ぐ「若きアーティスト」たちの活動を、1分間のパフォーマンスとともに紹介しています(2023年3月末までに福岡127回、長崎126回放送)。

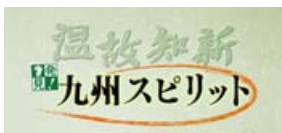
[福岡地区] 毎週日曜日 17時25分~17時30分 TNCテレビ西日本にて放送中
[長崎地区] 毎週土曜日 16時25分~16時30分 KTNテレビ長崎にて放送中



志、情熱企業

特徴ある技術力やノウハウ等を持ち、未来に飛躍する地元企業の志と情熱を紹介しています(2023年3月末までに751回)。

毎週土曜日 18時50分~18時55分 RKB毎日放送にて放送中



温故知新 「発見!九州スピリット」

進取の気性ととんだ九州人スピリットをテーマに、意外に知られていない人物、出来事、祭りなどを取り上げ、幅広い分野で「知らなかった九州」を紹介しています(2023年3月末までに439回放送)。

毎週土曜日 22時55分~23時00分
KBC九州朝日放送にて放送中



まちが★スキー

「地域の元氣を応援する」をコンセプトに、ひと・まち・しごとスポットを当て、地域の活性化に向けたさまざまな取組みを紹介しています(2023年3月末までに259回)。

毎週土曜日 9時25分~9時30分 FBS福岡放送にて放送中

安心に向けた 取組み

西日本シティ銀行および長崎銀行では、インターネットバンキングを利用した不正送金や、二重電話詐欺（振り込め詐欺）等の金融犯罪の被害未然防止に向けた取組みを行っています。

インターネットバンキングのセキュリティ強化に向けた取組み

西日本シティ銀行のシステム対策例

NCBダイレクト（個人のお客さま向け）では、普段とは異なるパソコンから接続された場合は「合言葉」による追加認証を行うなどの対策に取り組んでいます。

特に、安全性が向上する「ワンタイムパスワード」のご利用を強くお勧めしており、スマートフォンをお持ちのお客さまにはアプリ（ソフトトークン）をお持ち

（ハードトークン）をご利用いただき、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）をご利用いただけます。



ソフトトークン



ハードトークン

（ワン）をご提供しています。なお、振込等のお取引については、ワンタイムパスワードのご利用を必須としています。

NCBビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）においては、ソフトトークンやハードトークンで利用可能な「ワンタイムパスワード」を必須としているのに加え、利用登録したパソコン以外から接続できない仕組みとしています。

長崎銀行のシステム対策例

ながさきインターネットバンキング（個人のお客さま向け）には、「ワンタイムパスワード」または、「メール通知パスワード」を導入し、どちらかを必ずご利用いただくことで、安全性の向上を図っています。

ながさきビジネスダイレクト（法人・個人事業主のお客さま向け）には、登録したパソコン以外からは接続できない仕組みを導入しています。加えて、キーホルダー型のワンタイムパスワード生成機（ハードトークン）を必ずご利用いただいています。

お客さまご利用のパソコンへの対策

西日本シティ銀行および長崎銀行のホームページでは、偽サイトへの誘導（フィッシング）や、

ウイルス（スパイウェア）によるパスワード等の窃取を防止する「不正送金対策ソフト」を、無料でご提供しています。

二重電話詐欺（振り込め詐欺）などの被害未然防止に向けた取組み

携帯電話で通話しながらATMをご利用のお客さまや、窓口でご出金のお客さまには、金融犯罪被害を防止する観点から、職員がお声かけさせていただきます。ご了承ください。

障がいのあるお客さまに配慮した取組み
全ての営業店に1台以上、店舗外ATMコーナーとあわせて、西日本シティ銀行は合計916台、長崎銀行は合計45台の視覚障がい者対応ATMを設置しています（2023年3月末現在）。

また、代筆・代読のご対応を実施しています。詳しくは、お気軽に取引店にお問い合わせください。

西日本シティ銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎西日本シティ銀行お客様サービス室

☎0120-162-105 または **FAX.092-461-1916**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

24時間

◎西日本シティ銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口

☎0120-797-919

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

※営業時間外（平日夜間・休日）の場合はATMセンター宛にご連絡ください。
フリーダイヤル:0120-252-557

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

◎信託協会 信託相談所

☎0120-817-335 または **TEL.03-6206-3988**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口およびビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

☎0120-014-862

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

長崎銀行のお客さま ご相談・お問い合わせ

●ご意見・苦情

◎長崎銀行 お客さま相談室

TEL.095-829-4100 または **FAX.095-821-3185**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

24時間

◎長崎銀行の本支店窓口

●金融犯罪被害に関するご相談（振り込め詐欺・預金不正引出し等）

◎金融犯罪被害に関する相談窓口（事務部）

TEL.095-816-2211

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融ADR（裁判外紛争解決手続き）制度 指定紛争解決機関

◎全国銀行協会 相談室

TEL.0570-017109 または **TEL.03-5252-3772**

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

●金融円滑化相談窓口

すべての営業店のご融資窓口およびながさきローンプラザにおいてご相談・お申込みください。

●ローンのご返済にお困りの皆さまへの相談窓口

◎ローンご返済相談窓口

TEL.095-828-0558

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

損益の状況

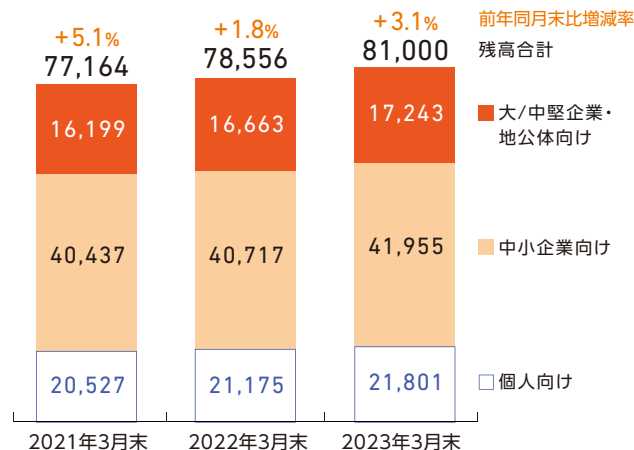
	西日本F H連結			西日本シティ銀行単体			長崎銀行単体		
	単位:百万円			単位:百万円			単位:百万円		
	2023/3期 通期	前期比	2022/3期 通期	2023/3期 通期	前期比	2022/3期 通期	2023/3期 通期	前期比	2022/3期 通期
経常収益	160,448	21,964	138,484	132,094	9,750	122,344	4,648	10	4,638
業務粗利益	108,159	△13,481	121,640	88,808	△13,644	102,452	3,526	△48	3,574
資金利益	93,741	△3,632	97,373	87,900	△3,708	91,608	3,826	△18	3,844
役務取引等利益	21,114	182	20,932	10,248	126	10,122	△299	△30	△269
特定取引利益	1,369	△550	1,919	3	3	0	-	-	-
その他業務利益	△8,066	△9,481	1,415	△9,343	△10,063	720	△0	0	△0
[うち国債等債券損益]	[△10,431]	[△11,386]	[955]	[△10,429]	[△11,385]	[956]	[△0]	[0]	[△0]
経費 △	78,039	△37	78,076	65,112	△917	66,029	3,181	△79	3,260
実質業務純益	30,119	△13,444	43,563	23,696	△12,726	36,422	344	30	314
コア業務純益	40,551	△2,057	42,608	34,126	△1,340	35,466	345	30	315
株式等関係損益	2,235	3,144	△909	2,479	3,146	△667	-	-	-
信用コスト △	3,949	△81	4,030	3,298	205	3,093	△63	△42	△21
その他臨時損益	5,270	6,024	△754	△2,508	△1,879	△629	△2	△3	1
経常利益	33,677	△4,191	37,868	20,367	△11,664	32,031	406	70	336
特別損益	434	1,148	△714	△353	311	△664	△36	△10	△26
法人税等 △	7,678	△4,664	12,342	5,520	△4,804	10,324	119	42	77
非支配株主に帰属する当期純利益 △	368	△207	575						
当期純利益 (連結は親会社株主帰属分)	26,064	1,828	24,236	14,493	△6,550	21,043	249	17	232

貸出金の残高

西日本シティ銀行単体

※財務省向け貸出を除く

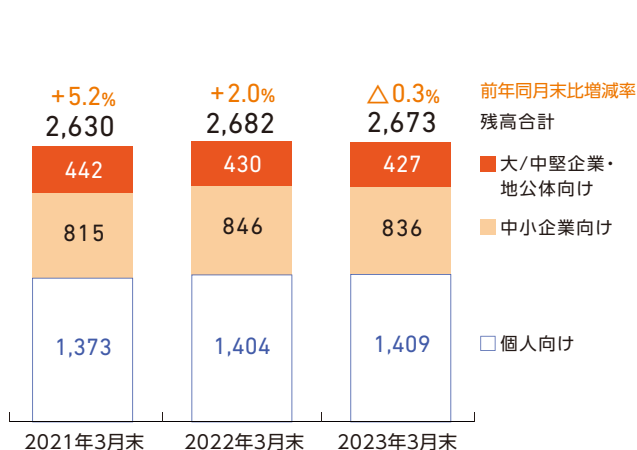
単位:億円



長崎銀行単体

※財務省向け貸出を除く

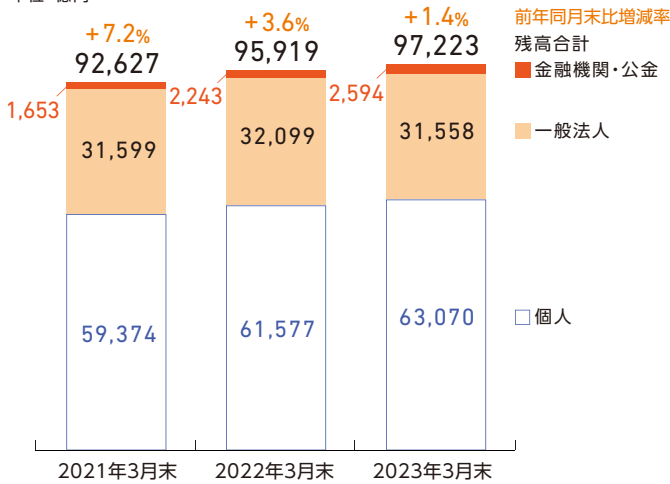
単位:億円



預金・譲渡性預金の残高

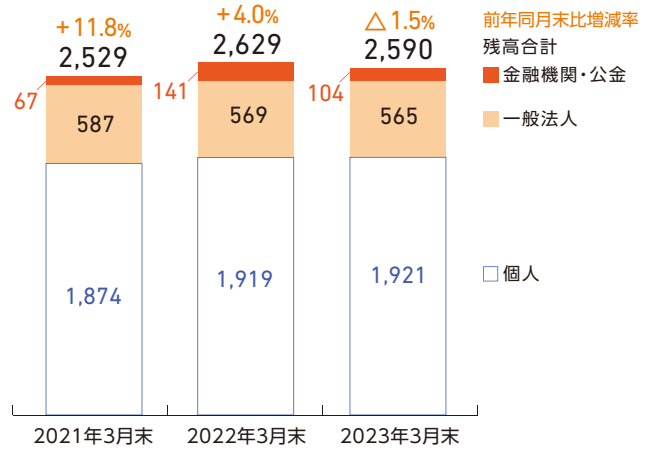
西日本シティ銀行単体

単位：億円



長崎銀行単体

単位：億円

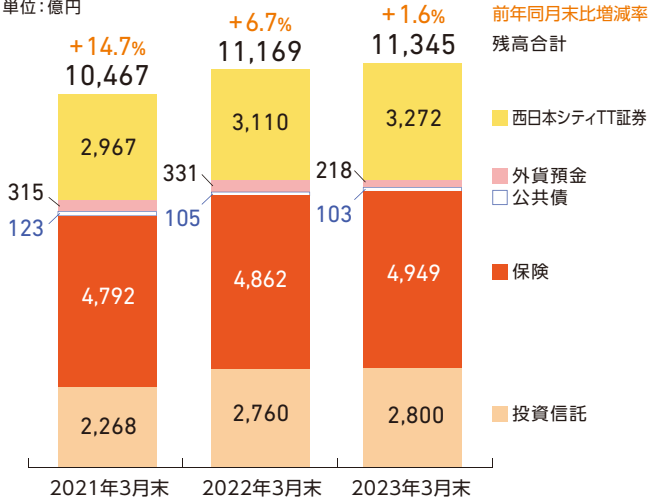


預り資産の残高

グループ合算

(西日本シティ銀行+長崎銀行+西日本シティTT証券)

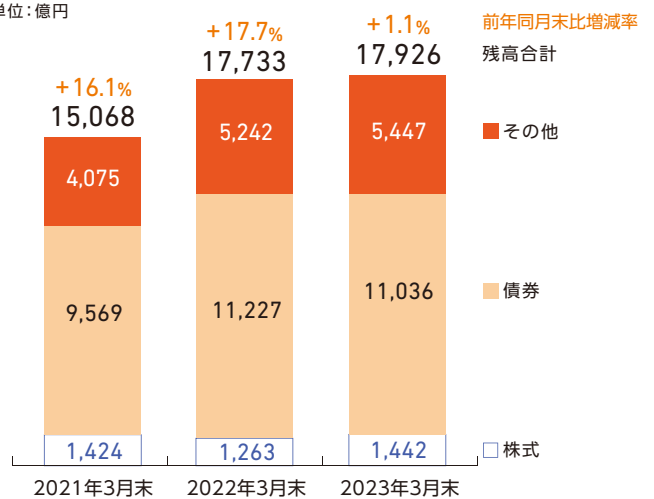
単位：億円



有価証券の残高

西日本 F H 連結

単位：億円

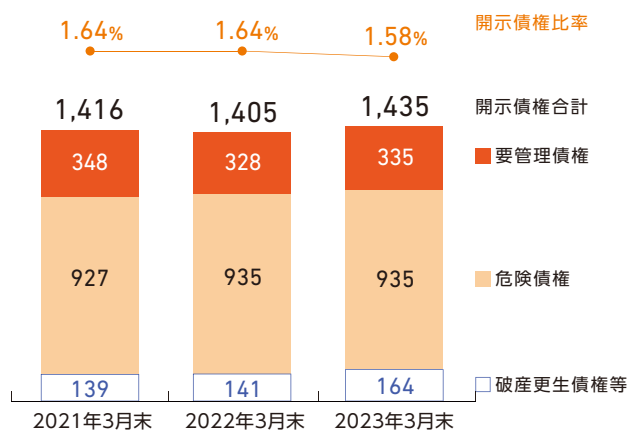


金融再生法開示債権

2行合算

(西日本シティ銀行+長崎銀行)

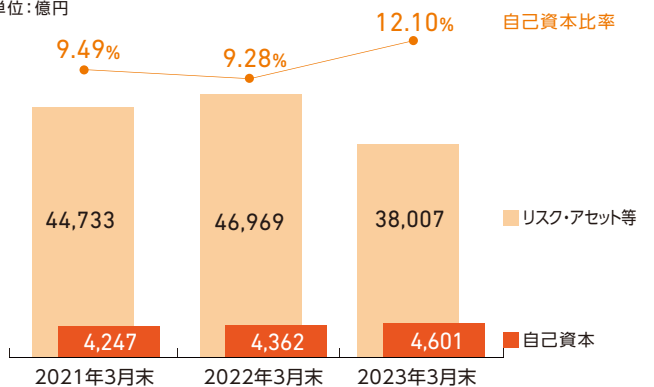
単位：億円



自己資本比率

西日本 F H 連結

単位：億円



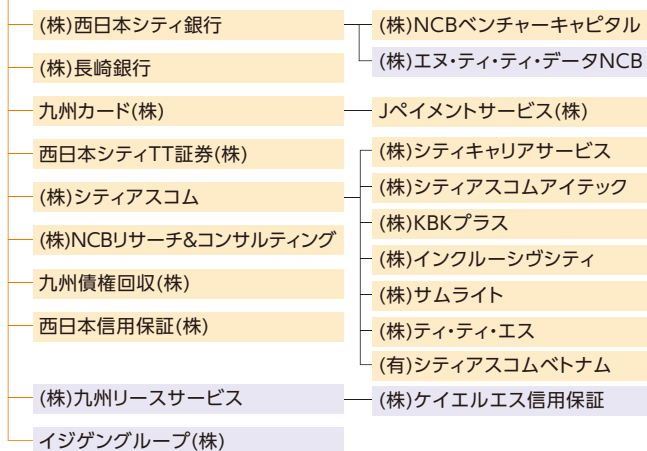
※リスク・アセット等の算出において次の手法を採用しています。
 信用リスク・アセット額…基礎的內部格付手法
 オペレーショナル・リスク相当額(2021年3月末、2022年3月末)…相利益配分手法
 オペレーショナル・リスク相当額(2023年3月末)…標準的計測手法
 ※2023年3月期よりバーゼルⅢ最終化を早期適用しています。これにより、旧基準に基づいて算出した場合と比較して、リスク・アセット等の額が減少し、自己資本比率が上昇しています。

プロフィール

グループストラクチャー

■ 子会社 ■ 関連会社

(株)西日本フィナンシャルホールディングス



●株式会社 西日本フィナンシャルホールディングス

設立日	2016年10月3日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
代表者	取締役社長(代表取締役) 村上 英之
事業内容	銀行持株会社
資本金	500億円
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場及び福岡証券取引所本則市場
単元株式数	100株

●株式会社 西日本シティ銀行

設立日	1944年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
代表者	取締役頭取(代表取締役) 村上 英之
事業内容	銀行業
店舗数	175か店
従業員数	3,380名
総資産	12兆6,767億円
資本金	857億円
総預金	9兆7,223億円
総貸出金	8兆7,378億円
預り資産残高	7,579億円

●株式会社 長崎銀行

設立日	1912年11月11日
本店所在地	長崎市栄町3番14号
代表者	取締役頭取(代表取締役) 開地 龍太郎
事業内容	銀行業
店舗数	23か店
従業員数	199名
総資産	3,170億円
資本金	76億円
総預金	2,590億円
総貸出金	2,673億円
預り資産残高	492億円

●九州カード 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル
代表者	取締役社長(代表取締役) 川本 惣一
事業内容	クレジットカード業・信用保証業
総資産	503億円
資本金	1億円
会員数	953千人
加盟店数	65千店
カード取扱高	4,512億円(2022年4月~2023年3月)
保証残高	804億円

●西日本シティTT証券 株式会社

本店所在地	福岡市中央区天神一丁目10番20号
代表者	取締役社長(代表取締役) 定野 敏彦
事業内容	金融商品取引業
拠点数	12拠点
総資産	184億円
資本金	30億円
預り資産残高	3,347億円

●株式会社 シティアスコム

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル
代表者	取締役社長(代表取締役) 藤本 宏文
事業内容	情報システムサービス業
拠点数	7拠点
総資産	93億円
資本金	4.4億円
IT資格保有者数	1,087人(延べ人数)

●株式会社 NCBリサーチ&コンサルティング

本店所在地	福岡市博多区下川端町2番1号 博多座・西銀ビル13階
代表者	取締役社長(代表取締役) 井野 誠司
事業内容	調査研究業・経営相談業・有料職業紹介業
総資産	8億円
資本金	0.2億円
会員数	5千社

●九州債権回収 株式会社

本店所在地	福岡市博多区博多駅前二丁目5番19号 サンライフ第三ビル3階
代表者	取締役社長(代表取締役) 北崎 道治
事業内容	債権管理回収業
総資産	27億円
資本金	5億円

●西日本信用保証 株式会社

本店所在地	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号
代表者	取締役社長(代表取締役) 石田 保之
事業内容	信用保証業
総資産	186億円
資本金	0.5億円
保証残高	1兆3,178億円

●株式会社九州リースサービス

本店所在地	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル
代表者	代表取締役社長 磯山 誠二
事業内容	リース業
総資産	1,616億円
資本金	29億円
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場及び福岡証券取引所本則市場

●イジゲングループ 株式会社

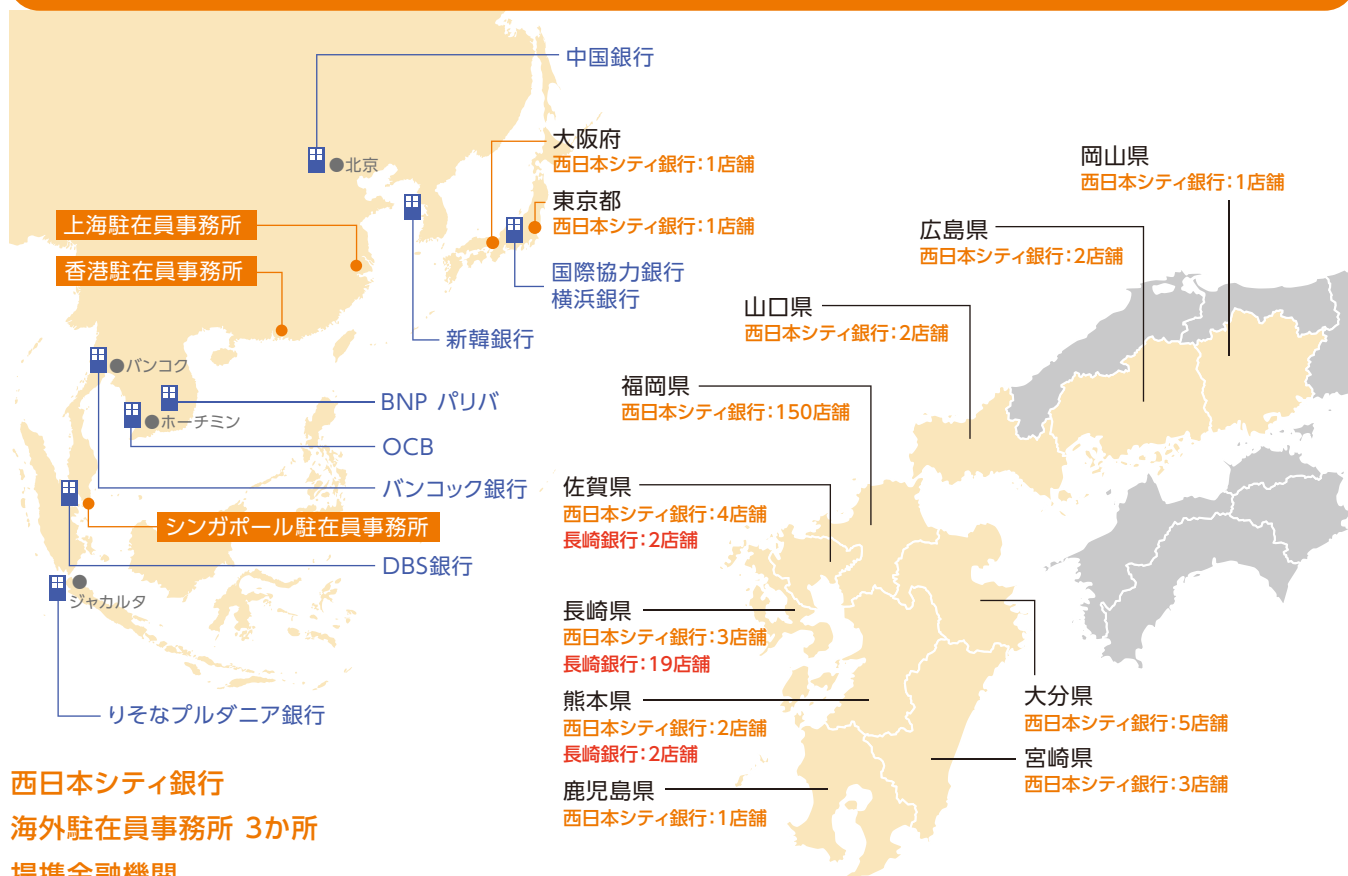
本店所在地	大分市大道町二丁目6番26号
代表者	取締役社長(代表取締役) 鶴岡 英明
事業内容	DXコンサルティング業・情報システムサービス業
総資産	2.9億円
資本金	0.8億円

※各種計数は2023年3月末時点の単体計数です。

企業名	本店所在地	事業内容
株式会社 NCBベンチャーキャピタル	福岡市中央区天神二丁目5番28号	投資事業組合財産の運用・管理業
株式会社 エヌ・ティ・ティ・データNCB	福岡市博多区博多駅前一丁目17番21号 NTTDATA博多駅前ビル7階	情報システムサービス業
Jペイメントサービス 株式会社	福岡市博多区博多駅前四丁目3番18号 サンライフセンタービル	決済代行業
株式会社 シティキャリアサービス	福岡市博多区博多駅前二丁目5番37号 博多ニコビル9階	労働者派遣業、情報システムサービス業
株式会社 シティアスコムアイテック	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル6階	情報システムサービス業
株式会社 KBKプラス	福岡市博多区博多駅前二丁目6番23号 博多駅前第2ビル	情報システムサービス業
株式会社 インクルーシヴシティ	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル	データ分析・コンサルティング業
株式会社 サムライト	福岡市早良区百道浜二丁目2番22号 AITビル	経営相談業、情報システムサービス業
株式会社 ティ・ティ・エス	福岡市博多区博多駅前一丁目8番6号 第5ガーデンビル8階	情報システムサービス業
有限会社 シティアスコムベトナム	12th Floor, Peakview Tower, 36 Hoang Cau St, O Cho Dua Ward, Dong Da Dist, Ha Noi City, Viet Nam	情報システムサービス業
株式会社 ケイエルエス信用保証	福岡市博多区博多駅前三丁目4番8号 グヴィンチ博多シティ4階	信用保証業

(2023年5月1日現在)

ネットワーク



西日本シティ銀行

海外駐在員事務所 3か所

提携金融機関

りそなプルダニア銀行(インドネシア) 1996年提携
中国銀行(中国) 2001年提携
国際協力銀行(日本) 2001年提携
新韓銀行(韓国) 2007年提携
OCB(ベトナム) 2008年提携
BNPパリバ(ベトナム) 2008年提携
バンコック銀行(タイ) 2009年提携
横浜銀行(日本) 2016年提携
DBS銀行(シンガポール) 2017年提携

西日本シティ銀行 175店舗
ATM 1,052台

店舗内/574台 店舗外/478台
※コンビニATM除く

西日本シティTT証券 12店舗

福岡県/9店舗
宮崎県/1店舗 熊本県/1店舗 鹿児島県/1店舗

長崎銀行 23店舗
ATM 45台

店舗内/29台 店舗外/16台
※コンビニATM除く

(2023年3月末現在)

株式のご案内

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とします。
2. 定時株主総会 6月に開催します。
3. 配当金の
お支払いについて 【期末配当金】3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
【中間配当金】取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いします。
配当金のお受取りには、預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。当社グループ会社の西日本シティ銀行・長崎銀行を是非ご利用ください。
4. 基準日 定時株主総会については3月31日とします。その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
5. 公告方法 電子公告による公告とし、当社ホームページ(<https://www.nnfh.co.jp>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載します。
6. 株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
(1) 事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
TEL 092-741-0284
(2) お問い合わせ先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部/0120-707-843(フリーダイヤル)
7. ご注意 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※本誌に関する計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。
※本誌に掲載している融資商品については、審査の結果、ご希望に添えない場合がございます。

2023年7月発行

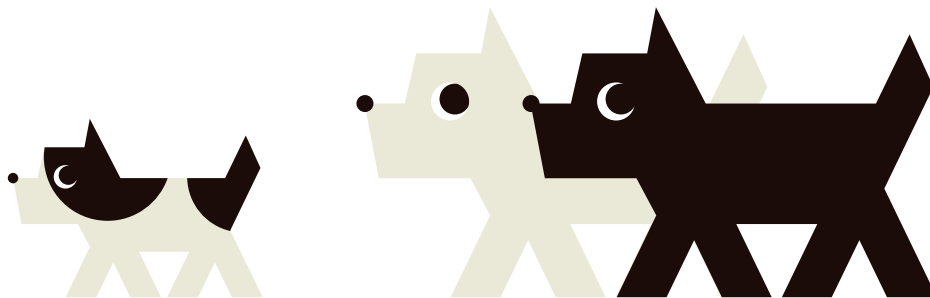
株式会社西日本フィナンシャルホールディングス 経営企画部 総務広報グループ

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-5050(代表) ホームページ <https://www.nnfh.co.jp>



西日本フィナンシャルホールディングス

<https://www.nnfh.co.jp/>



©GROOVISIONS

西日本シティ銀行ソーシャルメディア公式アカウント



@ncbankofficial



@ncbank_official



本誌は、「木になる紙」及び植物油インキを使用しています。「木になる紙」は、地元九州・福岡の森林整備に資する間伐材を原料としています。